

福島第一原子力発電所5号機 廃棄物処理建屋 火報の発報に関する調査状況について

< 参 考 資 料 >
2018年7月5日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー

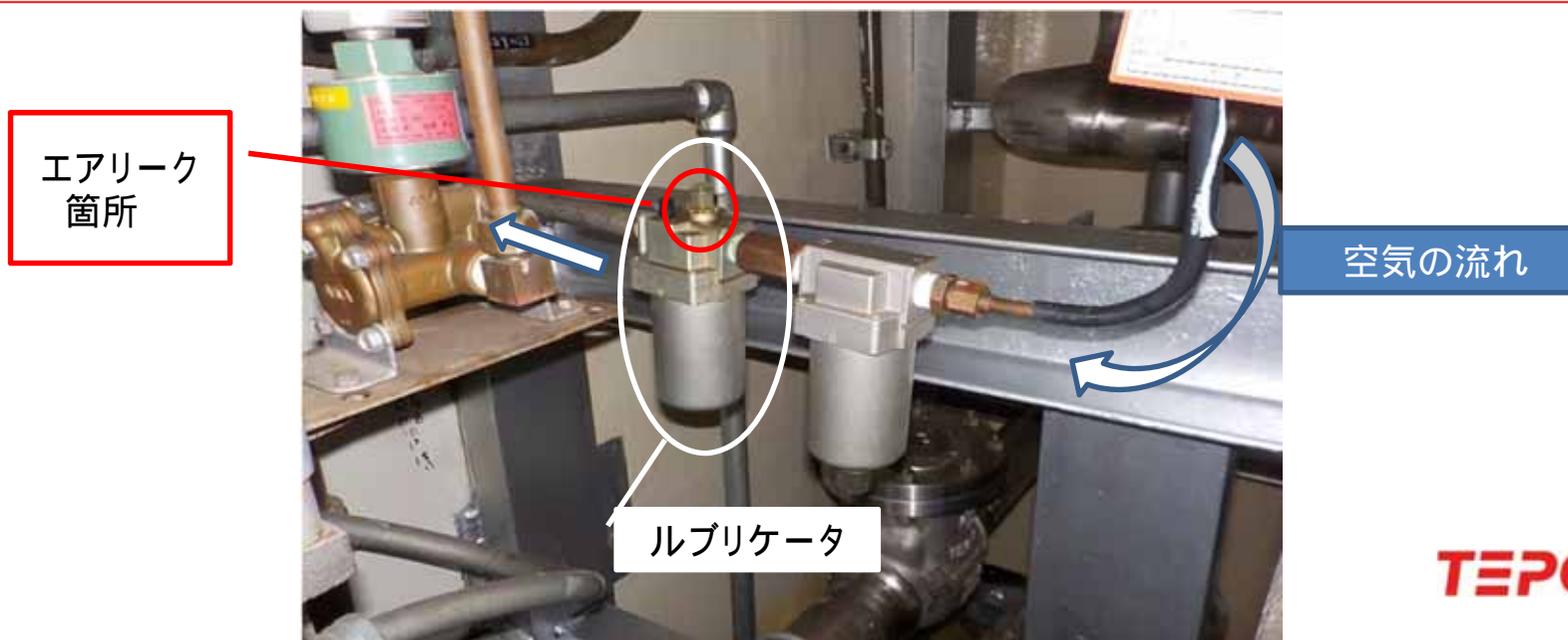
7月2日午前5時49分、5号機廃棄物処理建屋プリコートポンプ室において発生した、火報発報の原因について詳細現場確認を実施。

- ・プリコートポンプ室（使用済燃料プール水等を浄化するための樹脂をろ過器に付着させるためのポンプ等が設置されている部屋）内の天井、壁面、床の変色（焦げ跡等） 異常なし
- ・室内の環境 結露なし、室温27.6、湿度72%（7月3日午後2時頃）
- ・ポンプ等機器の不具合 AO（空気作動）弁の駆動用エアラインにあるルブリケータ*上部蓋からエアリークあり。

* 駆動部の潤滑を目的に、油を霧状にしてエアラインに送り込む機器

【火報発報の原因】

現場調査の結果、ルブリケータ上部蓋から、潤滑油が噴霧状にポンプ室内に舞い、火報が発報したと
考えている。



TEPCO